

ペテロの手紙 I (ペテロからの手紙 I)

現在のトルコにあたる地方に点在していた教会に、ペテロが出した手紙です。キリストが選んだ十二人の弟子たちの中で、ペテロは中心的存在でした。のちに、各地に教会ができ、大ぜいの人々がキリストを信じるようになってからも、彼はやはり第一人者として、すべての教会とクリスチャンを指導しました。その彼が、いよいよ激しく燃え上がる迫害の火の手の中で、そういう時にこそ神様を信じ、希望をもって戦い抜くように、励ましのことばをかけています。

—

1 イエス・キリストの宣教者ペテロから、エルサレムを追われて、ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジア、ビテニヤの各地方に分散したユダヤ人のクリスチャンへ。

2 愛する皆さん。父なる神は、ずっと昔からあなたがたを選び、自分の子供にしようと、決めておられました。そして、聖霊様の働きかけにより、あなたがたの心は、イエス・キリストの血によってきよめられ、神様に喜ばれるものと変わったのです。どうか、神様があなたがたを祝福し、すべての不安と恐れから、解放してくださいますように。

3 主イエス・キリストの父なる神こそ、すべての賞賛を受けるにふさわしい方です。私たちは、神様の測り知れないあわれみによって、新しく生まれ変わる特権を与えられ、今では神様の家族の一員として、迎えられたのです。キリスト様が死人の中から復活してくださったおかげで、私たちは永遠のいのちの希望にあふれています。4 神様は自分の子供たちのために、お金では買えない永遠のいのちを贈る、と約束してくださいました。それは純粋で、しみ一つない完全な状態で、天に保管されており、絶対に変質したり、腐敗したりしません。5 神様は超自然的な力によって、あなたがたが、まちがいなく天で永遠のいのちをいただけるよう、守ってくださいます。あなたがたが、神様を信じているからです。やがて来る終わりの日に、この永遠のいのちは、あなたがたのものとして、だれの目にも、はっきり示されるでしょう。6 ですから、心から喜びなさい。今しばらくの間、地上での苦しみが続きますが、行く手には、すばらしい喜びが待ち受けているからです。

7 これらの試練は、あなたがたの信仰をテストするためにあるのです。それによって、信仰が、どれほど強く、純粋であるかが量られます。それはちょうど、金が火によって精錬され、不純物が取り除かれるのに似ています。しかも神様には、あなたがたの信仰は、金などより、はるかに貴重なのです。ですから、信仰が火のような試練のるつぼの中で鍛えられ、なお強化されるなら、あなたがたは、イエス・キリストの再び来られる日に、多くの賞賛と栄光と名誉とを、受けることになるでしょう。

8 あなたがたは、イエス・キリストに一度も会ったことがないのに、愛しています。今、姿を見ているわけでもないのに、信じています。地上に生きている今も、天からの、ことばに表わせない喜びに満たされ、幸福感に浸っているのです。9 それだけではありま

せん。主を信じれば、たましいの救いが与えられるのです。

10 この救いについては、預言者も完全に知っていたわけではありません。救いの預言はしましたが、それが実際には何を意味しているのか、自分でも、よくわからなかったのです。11 心の中のキリスト様の霊が、何を語っておられるのか、納得できませんでした。聖霊様は、やがてキリスト様の身にふりかかる苦難と、それに続く大きな栄光とを書きとめるように、命じられたのです。彼らは、いったいそれが、いつ、だれに実現するのだろう、といふかったのです。

12 彼らは、これらが自分たちの時代にではなく、ずっとあとに、すなわち、この時代に実現することを、あとになって知らされました。そして今やついに、このすばらしい知らせは、私たち全員に、はっきり告げ知らされたのです。これは、預言者に語られた時と同様、天から遣わされた聖霊様の力によって、伝えられたのでした。それは、またとない、すばらしいものだったので、天の御使いでさえ、何とかして知りたいと願ったほどでした。13 そういうわけですから、あなたがたは、イエス・キリストが再び来られる時を、これまで以上の恵みを期待して、真剣に、身を慎んで、ひたすら待ち望むことができるのです。

14 あなたがたは、神様の子供なのですから、神様に従いなさい。何も知らずに悪事を重ねた昔の生活に、舞い戻ってはいけません。15 かえって、子供として招いてくださった、きよい神様にならい、あらゆる点できよい行ないをきなさい。16 主みずから、「わたしはきよい者であるから、あなたがたも、きよくなければならない」と言われました。

17 あなたがたが祈りをささげる天の父なる神は、公平な方で、さばきの時に、決してえこひいきなどなさいません。人の行ないをすべて、正しく公平にさばかれます。ですから、天に行くその日まで、主を恐れ、慎み深く生活しなさい。18 神様は、あなたがたの先祖が、天国へ行こうとして迷い込み、むなしい努力を重ねた迷路から、あなたがたを救い出すために、身の代金を支払ってくださいました。ありきたりの金や銀を積まれたのではありません。19 一点の罪も、しみもない神様の小羊、キリスト様の尊い血が支払われたのです。20 神様はこのために、世の始まる前から、キリスト様を選んでおられました。そして、この終わりの時代に、あなたがたへの祝福として、だれの目にも見える形で、キリスト様を遣わされたのです。

21 こういうわけで、キリスト様を死人の中から復活させ、栄光をお与えになった神様を、心から信頼してまちがいありません。あなたがたの信仰と希望とは、ただ神様にかかっているのです。22 今や、キリスト様を信じたあなたがたは、たましいが利己心と憎しみからきよめられたので、だれをも、真実に愛することができます。ですから、互いに心から熱く愛し合いなさい。

23 あなたがたには、新しいいのちがあります。そのいのちは、両親から受け継いだものではありません。両親がくれた肉体のいのちは、やがて朽ち果てますが、新しいいのち

ちは永遠に続きます。このいのちは、今も生きて働く神様のことばであるキリスト様から出ているのです。24生まれながらの古いのちは、枯れてしまう草のようです。どんな栄誉も、やがてはしぼみ、散っていく花と同じです。25しかし、主のことばは、いつまでも変わりなく続きます。これこそ、あなたがたへの良い知らせです。

二

1ですから、憎むこと、善人ぶること、不正直、ねたみ、陰口をきくことなどはやめなさい。23すでに、主の恵みといつくしみを経験したのですから、泣いてミルクを欲しが
る赤ん坊のように、熱心に救いの完成を祈り求めなさい。4キリスト様に近づきなさい。キリスト様は生ける土台石となり、神様はその上に、神の家をお建てになるのです。キリスト様を、人々は拒絶しましたが、神様は最も重要な存在として選ばれたのです。

5そして今、あなたがたは、神の家を建て上げるための生ける石となったのです。そればかりか、神様のきよい祭司となりました。イエス・キリストによって、神様に受け入れられたあなたがたは、喜ばれる供え物を神様にささげなさい。6旧約聖書にこう書いてあります。「見よ。わたしはキリストを、教会の尊い土台石とするために、特に選んで遣わした。彼に信頼する者は、決して失望しない。」

7そうです。キリスト様は、信じる者にとって、何よりも尊いお方です。しかし、キリスト様を拒絶する者にとっては、どうでしょう。聖書に、「建築士たちの投げ捨てた石が、家を建てる時になくてはならない土台石となった」と書いてあるとおりです。8また、聖書には、キリスト様は彼らにとって、「つまずきの石、妨げの岩」となられた、ともあります。彼らのつまずきの原因は、神様のことばに耳を傾けず、従おうとしないことです。それで彼らは、罰を受けて倒れるほかなかったのです。

9しかし、あなたがたは、そうではありません。あなたがたは、神様から選ばれた王なる祭司であり、きよい民として、神様のものとされた人たちです。それはすべて、どうして自分が、暗やみから神様のまばゆいばかりの光へと招き入れられたかを、人々に語り伝えるためなのです。10あなたがたは、以前は全くなきに等しい者でしたが、今は神様のものとされています。以前は神様のいつくしみからは縁遠い者でしたが、今はそのいつくしみによって、生活そのものを変えられています。

11愛する皆さん。この地上では、あなたがたは単なる旅人にすぎません。ほんとうの故郷は天にあるのですから、この世の快樂から遠ざかりなさい。そんな快樂は、身のためにならず、かえって、あなたがたのたましいに戦いをいどむのです。

12救われていない人の前では、日常のふるまいに、くれぐれも注意なさい。そうすれば、今はあなたがたを疑いの目で見たり、悪口を言ったりしている彼らも、やがて、キリスト様が来られる時には、あなたがたのりっぱな行ないを認めて、神様をほめたたえるでしょう。1314主のために、国家の定めたすべての法律に従いなさい。主権者である王が定めた法律にはもちろん、王の役人が定めた法律にも、従うべきです。なぜなら、王に任命された役人の使命は、悪い者を罰し、正しい者に榮譽を与えることだからで

す。

15 神様が望まれることは、あなたがたの行ないが、良い知らせのすばらしい影響力に目をつぶってあざ笑う者どもに、うむを言わせないほど、りっぱなものとなることです。 16 あなたがたは、法律からも解放された自由人です。しかし、だからといって、好き勝手なまねをしていいわけではありません。ただ神様に従うという一点で、自由人であるべきなのです。

17 だれをも尊敬しなさい。クリスチャンはお互いに深く愛し合いなさい。神様を恐れ、国家を尊びなさい。

18 召使は主人を尊敬し、どんな言いつけにも従いなさい。親切で物わかりのいい主人だけにでなく、残忍で乱暴な主人にも、従いなさい。 19 正しい者だというのに罰を受けるとしたら、その時は主をほめたたえなさい。 20 悪いことをしてなぐられる場合は、たといどんなに我慢してみせても、りっぱだとは言えません。しかし、正しいことをしたばかりに、かえって苦しみを受け、それをじっと耐える場合には、神様に喜んでいただけます。

21 この苦しみは、神様が与えてくださった務めでもあるのです。あなたがたのために苦しめられたキリスト様が、模範です。この方について行きなさい。 22 キリスト様は一度も、罪を犯したり、うそをついたりなさいませんでした。 23 侮辱されても口答えせず、苦しめられても仕返しをせず、公平にさばかれる神様に、自分をお任せになりました。 24 キリスト様は、自分の体に私たちの罪を負い、十字架上で死んでくださいました。そのおかげで、私たちは、罪ときっぱり手を切り、正しい生活を始めることができたのです。キリスト様が傷つくことによって、私たちの傷が治ったのです。 25 あなたがたは神様から離れて、迷子の羊のように、さまよっていました。しかし今は、どんな敵の攻撃からも、たましいを安全に守ってくださる羊飼いのもとに帰ったのです。

三

12 妻は夫に歩調を合わせなさい。そうすれば、今は、あなたがたが語る主のことばに耳を傾けようとしないう夫であっても、その敬虔な態度に打たれて、やがては信仰を持つようになるからです。神様を敬う生活は、どんなことばよりも影響力があります。

3 宝石や、ぜいたくな着物や、ヘアスタイルなどで、外見を美しく見せようと夢中になってはいけません。 4 むしろ、やさしく、おだやかな心の持ち主となり、いつまでも色あせのしない魅力で、内面を美しく飾りなさい。これこそ、神様の目に価値あるものです。

5 このように崇高な美しさを、昔の敬虔な婦人たちは身につけていました。心から神様を信じ、夫に歩調を合わせていたのです。

6 たとえばサラは、夫アブラハムを一家の主人として尊敬し、従いました。このサラに見ならいなさい。そうすれば、サラの信仰を受け継ぎ、正しい行ないをすることになるのです。これで、夫のきげんを損ねる心配もなくなるでしょう。

7 同様に、夫も、妻を心にかけてやりなさい。いつも妻の気持ちを察し、女が男よりも

弱い者であることを意識して、いたわってやりなさい。神様の祝福は、妻と共に受け継ぐべきものと心得なさい。もし妻に対する態度が誤っていれば、あなたがたの祈りは、むなしくなってしまう。

8 さて、あなたがた一同に言うておきます。お互いに家族の一員として、心から思いやりなさい。やさしい心と、謙そんな思いで愛し合いなさい。9 害を受けたからといって、仕返しをするのはやめなさい。侮辱されたからといって、口ぎたなく、ののしり返してはいけません。かえって、その人のために、神様の助けを祈り求めなさい。だれに対しても親切にしなさい。そうすれば、神様から祝福していただけます。

10 幸福で正しい生涯を送りたいなら、舌を制し、くちびるからうそが出ないようにしなさい。11 悪から遠ざかって、善を行ないなさい。平和な生涯を送りたいと願うなら、熱心に追い求めて、手に入れなさい。12 主は常に、自分の子供たちを見守り、その祈りに耳を傾けてくださいます。しかし、悪事を働く者には、主のきびしい顔が向けられているのです。

13 善を行ないたいと願うあなたがたに、だれが害を加えるでしょう。14 かりに、そのような事があっても、かえって、うらやましがられるでしょう。神様があなたがたに報いてくださるからです。15 心を動揺させないで、ただ主キリスト様を信じなさい。もしだれかに、「なぜキリスト様を信じるのか」と尋ねられたら、いつでもその理由を話せるようにしていなさい。それも、おだやかに、親切な態度で説明すべきです。

16 正しいことを行ないなさい。そうすれば、悪者呼ばわりする人たちも、やがては、あなたがたの正しい生き方に気づいて、自分たちの行為を恥じるでしょう。17 いいですか。あなたがたが苦しむことが神様の望みであれば、悪いことをして苦しみを受けるよりも、正しいことをして苦しみを受けるほうが、はるかにいいのです。

18 キリスト様も苦しまれました。一度も罪を犯したことの無い、潔白な方であったにもかかわらず、私たち罪人のために一たび死なれたのです。それは、私たちを確実に神様のもとに導くためでした。キリスト様の体は死にましたが、その霊は生きて、19 牢獄につながれている霊を訪ね、神様のことばを伝えました。20 これらの霊とは、ずっと昔の、ノアの時代の者たちを指します。彼らは、ノアが箱舟を造っている間、神様が忍耐して待っておられたにもかかわらず、神様のことばを拒否しました。結局、当時の大洪水から助かったのは、たったの八人でした。21 [このことから、バプテスマ(洗礼)が、ありありと浮かんでくるではありませんか。私たちの受けるバプテスマは、キリスト様の復活による、死と滅びの運命からの救出を意味します。それは、体が水できれいに洗われるからではなく、バプテスマを受けることによって、神様に立ち返った私たちが、心が罪からきよめられるようにと願うからです。] 22 今、キリスト様は天で、神様の次に名誉ある座につき、すべての御使いと天の軍勢を従えておられます。

四

1 キリスト様は、苦しみを受け、苦痛を忍ばれました。ですから、あなたがたも、いつ

苦しみに会ってもいい心がまえでいなさい。 肉体が苦しめば苦しむほど、罪はその力を失うことを覚えておきなさい。 2 こうして、あなたがたは残る生涯を、人間的な欲望の追求に費やすことなく、神様の御心のままに生きようと、細心の注意をはらうようになるのです。 3 あなたがたの過去は、性的な罪、みだらな肉欲、泥酔、乱交パーティー、酒宴、偶像礼拝など、神様を恐れない快樂に満ちていました。 もうそれで十分です。

4 昔の仲間は、もうどんなに誘っても、あなたがたが悪い遊びに応じないのを見て、ずいぶん驚くことでしょう。 あるいは、ばかにし、笑いものにすることもかもしれません。 5 しかし、覚えておきなさい。 彼らは、生きている者と死んだ者すべてをさばく、偉大な裁判官の前で、そのすべての行為について、まちがいなく罰を受けることになるのです。 6 だからこそ、この良い知らせは、洪水で滅ぼされた人々にも、伝えられたのです。 それは、たとえ肉体には死の罰が下されても、霊においては、神様にならって生きるためでした。

7 世の終わりが近づいています。 ですから、真剣で、分別のある、祈りの人となりなさい。 8 何よりも大切なことは、どんな時にも、深く愛し合うことです。 愛は、多くの欠点を補うからです。 9 食べる物にも事欠き、宿にも困っている人がいたら、気持ちよく家に迎え入れてやりなさい。

10 神様はあなたがた一人一人に、何らかの特別な能力を授けておられます。 その能力によって、互いに助け合い、神様からのあふれる祝福をひとり占めにはせず、他の人と分かち合いなさい。 11 説教するために選ばれた人は、あたかも、神様があなたを通してじかにお語りになるように、語りなさい。 人を助けるために選ばれた人は、神様が下さる力とエネルギーに満たされて、人々を助けなさい。 それは、イエス・キリストを通して、神様がほめたたえられるためです。 どうか、栄光と力が、いついつまでも、キリスト様にありますように。 アーメン。

12 愛する皆さん。 炎のように燃えさかる試練に出会っても、あわてたり、おじけづいたりしてはいけません。 ふりかかる試練は、決して思いがけないものでも、異常なものでもないからです。 13 むしろ、その試練によって、キリスト様と苦しみを分かち合えるのですから、喜びなさい。 やがて、キリスト様の栄光が輝きわたる時、あなたがたは、その栄光を共に受けて、すばらしい喜びを味わうのです。

14 クリスマンであるばかりに、ののしられ、侮辱されるなら、ほんとうに幸せです。 そんな時には、神の御霊が大いなる栄光で包んでくださるからです。 15 どうか皆さん。 人殺しや盗みの罪に問われたり、問題を引き起こしたり、みだりに他人の事柄に首を突っ込んだりして、そのために苦しむことがないよう気をつけてください。 そんなニュースが、私の耳に入らないようにしてください。 16 しかし、クリスマンだからというので苦しみを受けるなら、少しも恥じることはありません。 それは、キリスト様の家族の一員とされ、キリスト様の名で呼ばれる特権を受けた証拠ですから、神様をほめたたえなさい。 17 なぜなら、さばきの時が、すでに来ているからです。 しかもそのさばきは、

神様の子供たちから始まるのです。このように、クリスチャンの私たちでさえ、さばかれるのなら、主を信じたことのない人々には、どんなに恐ろしい運命が、待ち受けていることでしょう。18正しい人が、かろうじて救われるのであれば、神様を信じない人々は、いったい、どんなことになるのでしょうか。

19ですから、あなたがたの今の苦しみが、神様のお心にそうものであるなら、なお続けて善を行ないなさい。そして、あなたがたを造られた神様に、すべてをお任せしなさい。神様から見捨てられることは、決してありません。

五

1 さて、教会の長老に、私も同じ長老の職にある者として、ひとこと言っておきます。私は、キリスト様の十字架上の死の目撃者として、また、再び来られるキリスト様の栄光を共に受ける者として、ぜひとも、次のことをお願いしたいのです。2 神様の羊の群れを養いなさい。いやいやながらではなく、喜んで、その務めに当たりなさい。利益を求める気持ちからでなく、熱心に、喜んで、羊の群れを飼いなさい。3 ワンマンぶりを発揮せず、りっぱな模範を示して、彼らを指導するよう心がけなさい。4 そうすれば、偉大な羊飼い、キリスト様がおいでになる時、永遠に朽ちない栄光の冠を、ほうびとしていただけるのです。

5 次に、青年は長老たちの指導に従いなさい。みな、謙そんな思いで互いに仕え合うべきです。神様は、謙そんな者を特別、祝福してくださいますが、高慢な者には容赦なさいませんから。6 もしあなたがたが、神様の力強い手の下で慎み深くしているなら、ちょうどよい時に、神様は高く引き上げてくださるでしょう。

7 思いわずらいや心配事をすべて、神様にお任せしなさい。というのも、神様のほうで万事、心にかけていてくださるからです。

8 最大の敵である悪魔の攻撃に備えて、くれぐれも警戒しなさい。悪魔は、飢えて、ほえたけるライオンのように、引き裂くべき獲物を求めて、うろつき回っているのです。9 主を信じ、悪魔の攻撃に立ち向かいなさい。そして、世界中のクリスチャンが、同じ苦しみを通って来たことを、忘れないようにしなさい。

10 キリスト様を通して、あふれるほど恵みを注いでくださる神様は、あなたがたに、しばらくの苦しみのあとで、永遠の栄光を与えてくださるのです。神様がじきじきにあなたがたを力づけ、堅く立たせて、今まで以上に強めてくださいます。11 どうか、すべてのものを支配する絶対的な力が、永遠に神様にありますように。アーメン。

12 この手紙を筆記してくれたのは、忠実な信仰の友シルワノです。私は、この手紙があなたがたを力づけるよう、期待しています。なぜなら、どうしたら神様から確実に祝福していただけるかを、記したからです。この手紙が、あなたがたを、神様の愛のうちにしっかりと立たせるのに役立つと信じます。

13 ローマにある教会〔共に主を信じる、クリスチャンの皆さん〕が、よろしくと申しております。私の息子マルコも、よろしくとのことです。14 クリスチャンとして、互

いに愛に満ちたあいさつを交わしなさい。 キリスト様を信じる皆さんに、平安がありますように。

ペテロ

▪